

# さとしゅう

議会だより

No.83

2016.2.1



岡山県 里庄町議会



今年も元気に

- 補正予算は全議案可決する ..... (2)
- 延長保育の補助金振替の額は (補正予算質疑) ..... (4)
- 特定の個人を識別するための番号 (マイナンバー) の利用に関する条例の制定など ..... (6)
- 町政を問う (6人が登壇) ..... (9)
- シリーズ “地域の子どもたち” ..... (16)

# 定例会

平成27年第5回里庄町議会定例会は、12月7日から12月11日までの会期で開かれました。議案は、平成27年度補正予算4件、条例の制定2件と、一部改正2件、町道路線の認定4件、工事施工協定の締結1件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。また、請願が2件あり、1件は継続審査、1件は不採択となりました。一般質問では6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

## 職員の時間外勤務手当

主な対象です。

360万円

企画商工課では、地方創生交付金事業をはじめとする新規事業、イベント、国勢調査、人事異動等の対応です。町民課住民担当では、マイナンバー対応、税務担当では夜間受付対応が

## 国民健康保険特別会計(基盤安定等)操出金

1979万円

国、県からの支出金が1399万円あり、町の一般財源からの拠出金は、580万円です。

## 浜中バイパス等の負担金として

947万円

岡山県が町内の県道を整備する際に、事業費の15%を町が負担するものです。

今回の補正は、<sup>\*</sup>県道園井里庄線(浜中バイパス)などにかかる負担金です。財源は、地方債740

万円、一般財源207万円です。

※県道園井里庄線(浜中バイパス)道路整備事業

本事業は、西南水道企業団の新庄浄水場付近の交差点から、JRR山陽本線の下をくぐり、国道2号線浜中交差点を結ぶ県道園井里庄線のバイパスを整備する県の事業です。

## ゴミ焼却場の町負担金の減額

705万円

利用する市町の負担金の見直しにともなう減額措置です。

## 延長保育にかかる補助金の減額

600万円

延長保育関係で、県の特別保育事業等補助金が減額の785万円、子ども・子育て支援交付金の延長保育分が国県合わせて増額の178万円、合計で606万円の減額となりました。

## 個人番号カード関係の備品購入費

121万円

今年よりスタートした個人番号カードの裏書き用のシステムを購入します。

# 原案を可決!

なります



# すべての議案について

一般会計補正額 2658万円で総額43億6295万円と



つばきの丘運動公園より初日の出をのぞむ

これにともない、町も補助金を600万円減額します。

## 町道路線の認定

大原東1路線、松尾3路線の各団地内にある路線の認定です。

(委員会審査を参照)

## 工事施工協定の締結

「グリーンクレスト」南の県道及びJR線上に架かる歩道橋の工事で、線路上部分について、JRと協定を締結します。

## 12月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	43億6295万円	(2658万円)
国民健康保険特別	14億3899万円	(△498万円)
介護保険特別	9億5818万円	(115万円)
後期高齢者医療特別	1億4701万円	(△10万円)

# 質 疑

▼ 超過勤務の減少に向け、見直すべき  
 ▼ 保育園補助額の減額が少ない

一般会計補正予算に関する質疑を2人が行い、条例の制定1件に対し1人が質疑を行いました。

## 一般会計補正予算

### 超過勤務は見直すべき

**岡村議員** 総額360万円の間外手当の追加。年間では2565万円。一番多い職員で時間と額は、どれくらいか。職場環境に問題はないか。光熱費も発生する。町民の貴重な税金。残業は、はじめをつけて。臨時職員を雇えば、例えば年間を通して雇う場合は約13人を雇える。超過勤務は職員にも負担。見直すべき。

**町長** 時間外が多いことは、気になっている。総務課長を中心に、効率化、能率化を指導する。多い者で基本給の4割5割ある。大切なことには時間をかける、そうでないことはある程度でと。

**副町長** やむを得ず長時間労働をしている。業務量増加のほか、一人一人が精度の高い業務を念頭に頑張っている。

職員の健康管理、ワークライフバランスを考えて取り組みたい。毎週水曜日は早く帰る。課長補佐以上は時間外手当はつかないが、残る。タイムカードはある。

**企画商工課長** 4人の課員と他課分、150万円の補正。年間597万円となる。通常業務に加え、異動の引継ぎ、国勢調査、プレミアム商品券、総合戦略の策定、高梁川流域広域連携、町制施行65周年等で、これだけ必要。時間外勤務が無いのが望ましい姿。努力する。

**町民課長** 4人分で、マインバー等での127万円他、合計で167万円の補正。1人当たり月40時間。5人分で、1人当たり30時間の合計30万円を補正。滞納者への夜間事務、それにマインバー関係が入ってきた。

**国土調査室長** 1人分、当初の40万円に13万円の補正。定時後の作業、休日出勤等で、50時間を想定。



喜びあふれる新成人

## 補助裏の300万円も入れて 減額すべき



マキサヤ遺跡の発掘(干瓜)

**仁科英磨議員** ①歳入中、民生費国庫補助金及び同県補助金については、児童福祉総務費補助金のうち、次世代育成支援対策交付金、特別保育事業費等補助金及び放課後児童クラブ等支援事業補助金の3つが、今年度から子ども・子育て支援交付金1つに統合されたことによる、組替え補正となっている。

各事業の内訳は。

②歳出中、延長保育事業補助金600万円減額の根拠は。

補助裏の交付税の振替分300万円も入れて、当初で900万円減額すべきだったのでは。

問題が分かったのはいつで、保育園にはいつ、どういふ話をしたか。

当初計上の運営費増加額は、各園幾らか。

③西部環境整備施設組合負担金里庄清掃工場分7

900万円減額の理由は。

④狭あい道路整備事業の国庫補助が564万円増えた一方で、地方道路整備事業債を740万円削った理由は。

⑤教育振興費の扶助費が増えているが、なぜか。要件緩和、単価変更はしていないか。

⑥時間の補助は無いのか。国庫の補助は無いのか。

⑦時間外手当が増えているが、止めてもいいものはないか、外注や嘱託にする、自分たちでやってもらう等、できないか。

協働、ボランティアの求め過ぎはいけない。

**町民課長** ①町民課分は、延長保育分で、国、県各89万円。

平成26年度までは、特別保育事業として、1園当たり、補助基準額が593万円、うち3分の2の395万円の補助があった。

しかし、今回、そのうち基準額(基本分)459万円、国・県補助額306万円は、別途園に支払

っている給付費に振り変えられた。

②当初予算では、従来どおり、1園当たり町の上乗せ補助分200万円を含めて、800万円計上していた。

今回、国・県補助が1園当たり89万円(基準額は134万円)になり、約300万円減少したため、2園分の600万円を減額する。

交付税の減は考慮しなかった。

振替の通知は1月に、要綱は7月に受け、保育園には10月頃各300万円減額の話をした。

給付費の年間増加額は、かすみ保育園1920万円、里見保育園1080万円。

③運営委託契約額が1419万円少なかったこと、前年度からの繰越額4356万円が確定したことによる。

**総務課長** ④浜中バイパスの財源に回した。

**教委事務局長** ①学童保

育・放課後児童クラブ運営費が、国、県各357万円。20万円の増。

⑤増額は、認定数が小学校27人で12人増、中学校19人で6人増のため。

この就学援助は単費。

**健康福祉課長** ①健康福祉課分は、国、県各116万円。社協への子育てサロン委託料350万円の財源。

## ここが反対! 900万円減額しないと穴があく

仁科英磨議員

延長保育事業補助金の今回の補正減額は、制度改正に伴いその一部が運営費に振り替えられたことによるもの。

補助金600万円だけでなく、地方交付税も300万円振り替えられているので、900万円減額しないと穴があく。

運営費は3000万円増えているので、説明すれば分かっていただけはず。

いつの間にか新たな単費上乗せをするようなことは、筋が通らない。

現在の事業は、いずれも行政推進、福祉向上に重要と捉えている。

地域の方、各種団体の方にも協働・協力いただく考えである。

3分の2に上がり、当初は175万円計上していたが、国、県あわせて233万円に増えた。

**副町長** ⑥優先順位をつけ、事業内容を精査しながら対応する。

## 町条例

## 制定

里庄町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

個人番号制度の運用開始にあたり、特定個人情報の庁内連携について条例を制定するものです。

里庄町行政改革審議会条例

社会経済情勢の変化に対応して、効率的な町政の実現を推進するため、町民、議員、団体役員等、15人以内の委員で構成される審議会を設置しました。

## 一部改正

## 里庄町税条例等

個人番号制度の運用が始まることに対し、申請書等に個人番号を記入できるように、改正するものです。

また、法人番号の記載に関する規定を改正するものです。

## 里庄町介護保険条例

個人番号制度の運用が始まることに対し、保険料の減免申請時、個人番号を記載する必要があるように、改正するものです。

## 質疑

里庄町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

## 情報漏れの対策は

佐藤議員 法律の第3条第3項に関して、すべての国民が、このカードひとつで国に管理されることにつながるのではないか。

全国では、通知カードが行き渡っていないそうだが、里庄はどうか。

転入してくる人が、通知カードを手に入れてない場合はどうするのか。

法律第10条の再委託とはどういうことか。

## 総務課長

法律に関する質疑と思われるので、答弁は控える。

## 町道路線の認定

## 委員長報告

4道路線に関し、現地を確認を行った。

その後、慎重な審査を行い、担当課より、開発業者から申請が出され、関係者の承諾もとれているので、町としては問題ないと報告を受けた。

委員からは、認定の基準について、細部にわたって明確な表示をし、人によって判断が変わらないように整理すべきとの意見が出された。

(委員会は全会一致で承認)



認定された団地内道路(大原東)

— 委員長報告(請願) —

「平和安全法」の廃止を求める意見書を政府に送付する請願は継続審査

審査結果

12月7日に総務文教委員会を開催し、慎重に審査を行った結果、もう少し深く検討調査することが必要であり、全会一致で継続審査すべきと決しました。

「介護報酬の緊急再改定等を求める」請願は不採択

審査結果 賛成 0 : 4 反対

12月7日に建設福祉委員会を開催し、慎重に審査を行った結果、全会一致で不採択にすべきと決しました。



避難所をめざして(防災訓練)

ここが賛成！

充実したサービスを提供するために

佐藤耕三議員

4月に介護報酬の改定があり、全てのサービスで基本報酬が2.27%引き下げになった。多くのデイサービスや特別養護老人ホームの経営に大きな影響を与え、事務所の閉鎖・撤退につながっている。住民から介護のサービスを奪うことになる。

充実したサービスを提供するためにも、介護報酬を引き上げる必要がある。

議案に対する賛否状況(12月定例会)

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名	高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	議決結果
議案第 67号	里庄町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第 68号	里庄町行政改革審議会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 69号	里庄町税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第 70号	里庄町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第 71号	平成27年度里庄町一般会計補正予算(第3号)	×	×	○	○	○	×	○	○	×	原案可決
議案第 72号	平成27年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 73号	平成27年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 74号	平成27年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 75号	工事施行協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 76号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 77号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 78号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 79号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第 2号	「介護報酬の緊急再改定等を求める」請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第 3号	戦争法(平和安全法)の廃止を求める意見書を、政府に送付する請願書	全会一致で継続審査									継続審査

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

# 新年の挨拶



里庄町議会議長

平野 敏弘

新年明けましておめでとう  
ございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのこと、議会を代表して、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年はプレミアム商品券をはじめとした、景気回復に向けた経済対策が講じられ、地域の活性化に一定の効果が表れているように感じられるものの、決して予断を許す状況ではありません。また、これからは政府の大きな課題「地方創生」「一億総活躍」を柱とする地方刷新への重要な時期でもあり、「人口ビジ

ョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、まちづくりを進めていくこととなります。

こうした状況の中、本町におきましても、依然として厳しい財政状況にはありますが、多様化する町民ニーズと社会情勢の変化に的確に対応した行政運営をこれからも行っていく必要があります。

町民皆様の付託を受けている私たち町議会議員は、町民福祉の向上はもとより、町民目線による適正な行政運営がなされるよう、行政との十分な議論を尽くし、議決機

関としての役割と責任を果たさなければなりません。

そして、これまで同様、広く開かれた議会を目指し、町民皆様から町議会への信頼を一層高められるよう、精一杯努力してまいりますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、幸せで実り多い素晴らしい年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



後列左から 岡村咲津紀 眞野博文 仁科英麿 小野光章 仁科千鶴子 佐藤耕三  
前列左から 小野光三 平野敏弘 高田卓司 岡本雅道

一般  
質問

## 町政を問う

## 6人の議員が登壇して質問!

## 岡村咲津紀 議員…………… 10P

- ① 空き家対策と空き家活用について
- ② マイナンバーの取り扱いについて
- ③ 男女共同参画基本計画の後期5年間の今後の取り組みは

## 高田 卓司 議員…………… 11P

- ① 高齢者タクシー料金助成事業の不公平について
- ② 今までの質問のその後は

## 仁科 英磨 議員…………… 12P

- ① 企業誘致の促進と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の作成について
- ② 県道及び町道の拡幅、改良の促進について
- ③ マイナンバーの個人番号カードによる「コンビニ交付サービス」の導入について
- ④ 職員の採用について

## 佐藤 耕三 議員…………… 13P

- ① 高齢者タクシー料金助成制度の見直しを
- ② 町の鳥獣対策は今後どうするのか
- ③ 街路灯の設置について

## 岡本 雅道 議員…………… 14P

第3次里庄町振興計画について

## 仁科千鶴子 議員…………… 15P

- ① 空き家対策条例
- ② 各保育園の保育料について

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

# 空き家対策、

## 税の増収につなげるのか

総務課長／考えていない

### 問

① 空き家対策特別措置法は、優遇税制が撤廃され、固定資産税が6倍になる。また、自治体が固定資産税の課税情報を利用し、所有者を特定できる。

外観目視による実態調査を、分館長に依頼した町の考え方は。

② 現在、どれくらいの報告があったのか。

③ 空き家の状況を把握した物件に対し、税の増収につなげていくのか。

④ 空き家を再生し、移住者に提供するのも一つの手段である。定住促進事業につなげていく方法もあるが、町の見解は。

### 総務課長

① 分館長は地域の実情に精通しており、空き家問題を地域の問題として捉えてもらい、町だけでなく、地域の皆様とともに、地域づくりを推進していく意味も込めてお願いした。分館長へ依頼することにより、町財政の負担軽減を図った。

② 23分館から、約1000件の空き家の報告があった。

③ 税収の確保は考えていない。

④ 利活用できそうな空き家もあると思う。定住促進事業とあわせて研究していきたい。

## 通知カードは全世帯に配付できたか

町民課長／260世帯から戻ってきた



岡村咲津紀 議員

### 問

① マイナンバーの通知カードは、全世帯に配付できたのか。返送された世帯は何件くらいあり、今後どのよう

うに進めていくのか。

② ひとり暮らしの高齢者や障害のある人、また認知症の人には、支援サポートや福祉関係の連携が必要だが、どのようにサポートしていくのか。

③ この制度にかかる町の負担と更新期間は。

### 町民課長

① 戻ってきた260世帯に対し、役場に受け取りに来るよう案内している。長期入院等している人には、個別の対応を検討するなど体制をとりたい。

### 総務課長

② 健康福祉課、包括支援センターの職員が、制度に関する情報提供に努めていく。

## 男女共同参画基本計画の今後の取り組みは

企画商工課長／より一層の取り組みを進めていく

③ 町の費用は、平成26年度が住民基本台帳システムと地方税務システムで約2130万円、うち国から、約1630万円の補助があった。

27年度は、障害福祉システムや児童福祉システムほか、5つのシステム

と方針について、庁内で管理職を対象に研修等を実施しているか。

② 積極的な施策を展開することで、町の魅力を高め、職場環境の改善、後押しにつなげていくのではないかと。今後、どのように検討するのか。

更新期間は、20歳未満がカードの発行日から5回目の誕生日まで。成人は10回目の誕生日まで。

改修費として、約3600万円の支出予定で、国からは約2030万円の歳入予定である。

### 問

① 第2次里庄町男女共同参画基本計画の今後の取り組み

### 企画商工課長

① 庁内での勉強会等はできていないが、研修等実施していきたい。

② 女性が輝ける社会をつくるためには、男女ともに支え合い、協力し合うことが大切。

男女共同参画社会の実現に向け、一層の取り組みを進めていく。

高田 卓司 議員



## タクシー料金助成の不公平の改善は

健康福祉課長／車を運転している人は除外する

### 問

① 高齢者タクシー料金助成事業の不公平について、車を運転している人に補助するのは考えるべきではないかなどの意見があった。町長からは、意見を聞きながら来年度に向けて検討するとの答弁があった。

どのように検討をしたのか。

② 家族がいても、皆勤めがあり、高齢者の人が病院へ行くのにも困っているという意見があるが、移動手段に困っている人にも幾らかの助成を考えるとどうか。

① 本当に困っている人には、年間24枚ではなくても、半分あるいは3分の1の助成にする考えはないか。

健康福祉課長

① 助成内容は、500円分のタクシー利用券を年最大48枚、金額にして2万4000円分の利用券を交付するもの。

6月議会で、車に乗っている人については検討すると答えているので、

再度対象要件の見直しを行い、平成28年度からは、自動車運転している人がいる世帯の場合は、対象から除外したいと考えている。

② 財源のことを考えると、一定の基準が必要であり、家族で自助、共助でまかなえないところに限り助成をしていくほうが良いと思う。

現在のところ、対象者の範囲を広げる考えはない。

### 町長

② 特別な事情があると判断した場合、ある程度の考慮は必要かと思っている。

## 橋の危険箇所のその後は

農林建設課長／庁内で検討中

### 問

① 里庄駅西の踏切北の新庄川の中央に橋脚があるために、流木が橋脚に引っ掛かり川をせき止めた状態になっている。

② その丸太が腐っている。どちらも非常に危険な状態であり、大事故の可能性大である。

このことについて、2年前にも指摘したが、その後、国・県と相談してどうなったか。

③ 事故が起きる危険性があるとわれながら、2年たっても、まだ役場内で検討中という段階じゃないでしょうか。

指摘されながら放っているが、事故が起きたら人災であり、責任問題はどう考えているか。

### 問

③ 駅裏県道は制限速度が時速40km、2号線が時速50kmであるのに、229号線の速度制限が時速60kmはおかしいのではないか。

危険なので公安委員会と協議するということが、どういった結果になったのか。

農林建設課長

① 言われる通り、危険なため、橋渠改修を検討中。

改修に当たっては、県やJRなどの関係機関と協議する必要があるので、少し時間がほしい。

今は庁内で検討しているところ。

③ 速度超過を原因とした事故は、今のところ発生していないと、警察からは聞いている。

町としては、現状、事

故多発路線でない認識しており、現時点では、速度規制の見直しは考えていない。

### 町長

② 現状はやはり危ないと感じているが、すぐさま落下するとは考えていない。

これから、229号線4工区、岩村の町道の改良、駅前広場、駅のエレベーター、2号線パイプのアクセス道などがあり、財政的に大変な中であるが、優先順位を決めてやりたい。ただ、この橋が放っておけないというので、やる方向で決断した。



新庄川にかかる橋

# 企業誘致により

## 地元雇用の場を増やすべき

町長／企業誘致だけが定住策ではない



仁科 英磨 議員

### 問

①里庄町で生まれ育った人達が、社会人になってからも町内に残って定住できるようにすることは、里庄町でも大きなテーマだ。

そのためには、働く場、地元雇用の場をもっと増やす政策が重要。そして、里庄町の恵まれた立地条件を考えると、外から良い企業を誘致することが一番取り組み易いし、職住近接の観点からも望ましい。

最近10年間の状況、町の努力と成果、今後の方策は。

②昨年制定された2つの企業誘致条例の運用及びふるさと融資の動向は。

③人口増で増える財政需

要を賄うには、企業が外から来て税を納めてもらうことが望ましい。

④まち・ひと・しごと創生総合戦略は、50年後の人口ビジョンを目標とする戦略で、里庄町振興計画の下位計画ではない。

内容の見直しが必要だ。定住促進、企業誘致について、具体的に書くべき。

### 町長

①地元企業の接道、下水道整備や土地の確保等の要望を聞きながら、可能な限り協力、支援した。

②今後も、地元企業が引き続き里庄町で確実に操業できるように、用地確保

への協力、国・県の支援策の情報提供、雇用の確保などに努める。

②最近の融資は無い。企業誘致だけが定住策ではない。

里庄町は面積も土地も余りない。企業誘致は、競争するものではない。例えば隣の浅口の企業団地に来てもらって、町から働きに行けばいい。

### 町民課 参事

③法人町民税の1率は、平成6年度の3億4300万円。

それが平成21年度には7400万円にまで落ち込み、その後回復してきてはいるが、26年度で1億5500万円。

### 企画商工課 課長

④総合戦略も、今回は、5年を目的に策定したい。

## 県道本村から東小までの 拡幅、歩道整備の促進を

農林建設課長／県に要望・働きかけ、協力する

### 問

①県道里庄地頭上線について、

②里見釣具店から南側は、3月に実現した。

③県に働きかけるとともに、必要な協力を行う。残地利用の考えはない。

④蓋の水抜き部の幅が広いため、子どもがしよつちゅう足をひっかけて転び、非常に危ない。

町長との懇談の時お母さんが切々と訴えたが、何ともしてくれないので、県にお願ひしたら、担当課長が見に来てくれ、町から要望があればやってほしいとの感じ。

③山根医院辺りが非常に狭くなっており、危ない。空き家と東側の荒廃田全体を買取り、一部は道路に、あとは東小の記念館として残したり、学童保育に使ったり、いろん

な形で残しながらうまく使ったらどうか。

### 農林建設課 課長

①今回、里見釣具店北側交差点までの全てを完了する。

②要望する。

### その他の質問

Q マイナンバー個人番号カードによるコンビニ交付サービスの導入をA 29年度開始に向け準備

Q 職員採用は、地元のいい人をA 優秀な人材の確保に取り組む

佐藤 耕三 議員



# 高齢者タクシー料金 助成制度の見直しを

町長／本当に困っている場合は検討する

## 問

① 高齢者タクシーの助成制度の目的は、料金の一部を助成し、経済的負担の軽減により、外出機会の促進及び閉じこもりの予防を図り、高齢者の福祉の増進を図ることで間違いないか。

② 子どもが昼間仕事で家にいない場合、車の運転ができない高齢者は外出時タクシーを使わなければいけない。子どもの住まいが町内でも町外でも同じではないか。

③ 病院は日曜日はやっていない。ひとりでは病院にすら行けない人がいる。憲法には、全ての国民は健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有するとある。制度のやり方を考え直すとはどうか。

## 健康福祉課 町長

① その通り。  
② 身近に親族がいれば休日支援を受けることが出来る。一定の範囲を設ける必要があり、

町内を範囲としている。

③ 介護の認定を受けている人は、ヘルパーによる買い物支援や宅配サービス、通院が困難な場合は医師の往診など、多様な方法を考えることができている。財政負担が増すことも考えられ、事業規模は慎重に考える。

## 町長

③ 本当に困っている場合は検討する。基本的には、親が年を取れば子どもが面倒を見る。自助努力が大切な制度をつくりまだ2年問題があれば考慮する。

# 暗い場所へ街路灯の設置を

企画商工課長／分館長を通じ申請を

## 問

自転車で走るとかなり暗い場所がある。NTTや中電の柱があるので、すぐ取り付けられる。そこが学生の通学路になっているところもある。自動車では気付きにくいのが、子どもやお年寄りのことを考え、暗い所は、早急に街灯を設置すべき。

## 企画商工課 町長

PTA・町民の声を受け、分館長を通じ、申請をあげてもらっている。1つの申請で2〜3カ月かかる。町内37分館あるので、予算を考慮し、かたよりの無いよう調整しながら、要望に応えたい。

# 今後の鳥獣対策は

町長／猟友会に対する

支援や補助は考えてもよい

## 問

① 最近イノシシが目撃されている。近隣の市町村では急速に増えている。町はどのような予測をしているか。

今後の鳥獣対策は、② 防護柵の設置など、補助金を出しているところもある。

こういった制度を国に要求することは考えるか。

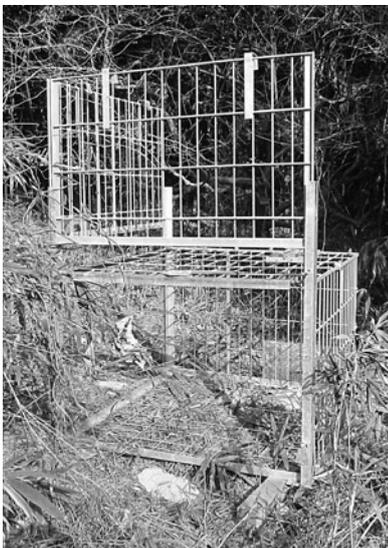
## 町長

① イノシシに限らず、カラスとか害獣が多いので、猟友会に対する支援や補助は考えてもよい。

本年度までは、柵の補助があった。来年度からは、駆除協議会等作った場合補助が方向。補助金が使えるものは使う。

## 農林建設課 町長

① 現在まで6頭を捕獲。捕獲方



イノシシ捕獲用の檻

# 利便性の高い

## 里庄駅にする考えは

農林建設課長／一体的な駅周辺整備を検討する



岡本 雅道 議員

**問** 第3次振興計画の後期計画に、公共交通機関の利用促進、公共交通の適正な維持が記載してある。

里庄駅の1日当たりの乗降客数は、約2600人前後。

駅への交通手段として、徒歩、自転車、自動車、自家用車による送迎が上げられる。特に、朝夕の自家用車による送迎では、駅前の混雑には歩行者や自転車通の人が車の間をすり抜けながら改札口に急ぐ、そうした環境である。

また、夜間の場合、特にこれから寒くなるとエンジンかけっ放しである。里庄駅前には送迎車輛

が待避するところが無い。定住促進に関するところ

であれば、当然のことながら、今後も駅を良くし、利用を高めて、たくさんの人に住んでいただく。駅は交通手段として、非常に利便性の高いものにしていく必要があると思う。

その点について、どのように進めていく計画なのか。例えば1年で無理ならば5年、5年でだめなら10年というスパンでビジョンを持ってこの計画は進めなければならぬと思うが、どのように考えているのか。

へのエレベーター設置など、いわゆるバリアフリー化を含めた一体的な駅周辺整備を検討してまいりたいと考えている。期間については、今の時点で何年ということは言えない。

具体的には、来年度から一体的な駅周辺整備を進めるために、基本構想を作成したいと考えている。その成果をもとに、JRや地元の関係者との協議、調整を進めたい。その基本構想ができた時点で、大体的見通しが出るかと考える。

**農林建設課長** 駅前整備とあわせて、駅ホーム

## 常設のグランドゴルフ場を造っては

町長／造る考えはない

**問**

① 振興計画に、子どもから高齢者まで生涯にわたりスポーツ、レクリエーションを楽しめる環境づくりを進める、とある。

11月29日に、里庄町生涯スポーツグラウンドゴルフ交流大会があった。

約20組、100名の参加があった。

そうした中で、一番の要望は、近隣市町には常設のグラウンドゴルフ場があるが、里庄にはない。クラブに入っている人は日にちを決めて練習をしているが、入っていない人がちよつと行つて練習しようというわけにはいかない。ぜひ常設のグラウンドゴルフ場を造ってほしい、というのが大勢の参加者の声であった。

クラブ員は、商工会館の西側で、また週に何回かはつばきの丘に上がつていくが、常に設置をして撤去しなければならぬ。

ぜひとも常設のグラウ

ンドゴルフ場を造つてほしいという要望を耳にしたがどうか。

② 早島町は里庄町よりもつと面積が小さいが、常設のグラウンドゴルフ場がある。

空き地を有効活用して町民が憩える場所を造つてほしい。何千万円も何億円もかかるわけではない。

空き地を利用した生涯スポーツのできる施設を考えてほしい。

**教委事務局長**

① つばきの丘運動公園や、大原東コミュニティ広場などの既存のスポーツ、レクリエーション施設を有効に活用していただくことで対応したい。

**町長**

② 新しくグラウンドゴルフ場を造るといふ考えはない。

仁科千鶴子 議員



# 空き家対策、条例は考えていないのか

総務課長／事業を進める中で検討したい

### 問

① 空家対策特別措置法が全面的に施行された。里庄町に

においても、対策を本格化させるということで、分館長会議で情報提供をお願いした。現在情報収集の状況は。

② 空き家の基準と情報収集後の町の動きは。

③ どういう効果を求めているのか。

④ 倒すことによつて固定資産税が上がるのでは。相談場所として担当部署を作つて対応するのか。

⑤ 里庄としての条例は考えていないのか。

### 総務課長

① 分館長より住宅の空き家調査の報告を受けており、今年度中に情報を取りまとめる。

② 基準は、外観から判断して、調査をしていく。空き家の現状を把握・所有者を特定し、不適切な管理状態のものは、改善を促す指導、助言、勧告等を順次展開していく

③ 所有者や管理者の適切な管理が得られるとともに、地域の景観、衛生、防犯、防災など生活環境の保全が得られる。

④ 特別措置法が施行されたことに伴い、生活環境に多大な影響を及ぼす特定空き家は住宅用地特例

の対象から外れるため、最大で6倍となる。

町としては、まず空き家の適切な管理を求めていくことを前提に取り組む。

⑤ 現在調査を始めた段階であり、未定である。本格的に事業を進める中で、条例制定の必要性について検討したい。

# 保育料の不公平をどう思うか

町民課長／県の動向を見ながら今後判断していく

### 問

① 保育園の利用人数、無料の兄弟姉妹の人数、延長保育利用の状況は。

② 年が離れていると保育料が全額かかる。不平等をどう思うか。

③ 近隣の保育園の状況は。

④ 同時入所だけでなく、第2子以降は減免を受けられるよう変更を考える

余地はないか。

### 町民課長

① 12月1日現在、かすみ保育園が

217人、里見保育園が116人、合計333人。

同時入所で2人目以降無料の2人目が105人、3人目が8人。

延長保育は、かすみ保育園34人、里見保育園10

人の計44人利用している。

② 不公平感をもつ保護者がいると認識している。

③ 国の基準は、同時入所の第2子50%軽減、第3子が無料。

〈笠岡市〉同時入所で第2子が75%軽減、同時入所以外は第2子25%、第3子以降50%軽減。

〈浅口市〉同時入所以外は18歳未満の第2子以降を10%軽減。

〈井原市〉〈矢掛町〉国基準である。

④ 限られた財源の中で、子育て支援の施策として何が効果的かを考えて対応していく。



新しいお部屋で気持ちいいネ

また、県の制度として、同時入所外の多子世代の保育料軽減の補助制度が検討されている。動向を見ながら、今度判断していく。

### 町長

② 財政的なことを考えると、何もかも認めるわけにはいかない。バランスをとりながら線引きが必要である。

自分が面倒見たいという人から見ると、第2子のみを無料にするのは、かえつて不公平である。

## みんな仲良しです

## 古井子供会

古井子供会は、幼稚園生から小学校6年生までの17名で活動しています。当子供会では大きな行事はありませんが、17名みんな仲よく活動しています。

平成27年度の夏のお楽しみ会ではプールに行きました。

浮輪やビーチボールで遊んだり、泳ぐ競争をしたり、ウォータースライダーをすべったり、それぞれがお友達と相談して遊び、楽しいお楽しみ会になりました。

冬のクリスマス会では、ケーキデコレーションをしました。

生クリームやチョコペンなどでデコレーションをして、一人一人すてきなケーキが出来上がりました。その後、他の人の

ケーキを見て楽しみながらおいしくいただきました。また、ビンゴやクイズなどでも盛り上がりました。

子供会では、夏休みのラジオ体操のあとにいつも使わせていただいている公会堂のまわりの草取りを、子ども達はもちろん保護者も一緒に行っています。

地域の方々と直にふれあう機会はありませんが、これからもあたたかく見守って下さい。



## 《第83号》

平成28年2月1日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

## ●あしがき

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

町民の皆様の視点に立った、読みやすく親しみやすい「議会広報」の編集を目指し、頑張っています。

皆様のご意見、写真提供をして頂ける方は、議会事務局へお寄せください。お待ちしております。

(仁科千)

## 編集委員

委員長：小野光章 副委員長：仁科英磨 委員：仁科千鶴子 委員：佐藤耕三



写真提供：小野 利公(表紙及びP2-3)